

事務事業評価シート

計画対象年度	平成29年度							
事務事業名	文化財保護事業（政策）						事業類型	その他
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			10	04	03	03	政策経費	根拠法令
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 地域文化の継承と創造						市民協働	行政主体
	1 地域文化						担当課係等	歴史博物館
事業期間	①文化財などの伝承と保護・活用							文化振興担当
	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 市の財産である文化財の適正な保護、伝承に努めると共に、文化財を活用した事業を展開し、その価値、魅力を市民に理解してもらおう。	【関連事業】 埋蔵文化財保護事業 歴史博物館管理運営事業 富士見塚古墳公園管理運営事業
【期待される効果】 文化財を調査研究し、保存と伝承及び文化財を活用した事業を行うことにより、地域の歴史への理解を深め、郷土愛を育むことができる。	【対象者】 市民 市来訪者
【全体概要】 文化財の保護・活用・伝承に関わる各種事業や文化財の調査、研究、指定、公開に関する各種事業の経費を計上	【特記事項】 県指定文化財風返稲荷山古墳出土品の国指定文化財指定に向けての準備。
【平成28年度 事業内容】 椎名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の公開・管理事業、指定文化財指定事業、文化財説明板・案内板修繕・製作等、木村家住宅修繕、雪入郷倉修繕、指定文化財一斉公開事業、下大津サクラ調査	【平成29年度 事業内容】 椎名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の公開・管理事業、指定文化財指定事業、文化財説明板・案内板修繕・製作等、指定文化財一斉公開事業。
【平成30年度 事業内容】 椎名家住宅各種補助事業、出島のシイ延命対策事業、民俗芸能伝承事業、指定文化財等の公開・管理事業、指定文化財指定事業、文化財説明板・案内板修繕・製作等、指定文化財一斉公開事業、成井ばやし山車修繕事業。	

■事業費

		H28年度	H29年度	H30年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,571	1,395	2,330
歳入計（千円）		4,571	1,395	2,330
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	615	558	640
	09 旅費	0	0	23
	11 需用費	125	307	554
	13 委託料	859	266	348
	19 負担金、補助及び交付金	2,972	264	765
歳出計（千円）（A）		4,571	1,395	2,330
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 67.02 予 53.18
職員人工数		0.20	0.60	0.60
職員人件費（B）		1,574	4,622	4,685
総事業費（A）＋（B）		6,145	6,017	7,015

■指標

種類	指標名	単位		H28年度	H29年度	H30年度
活動指標	文化財一斉公開時の関連企画	回	目標	6.00	6.00	6.00
	29年度実績 バスツアー2回、文化団体2回、高校生会1回、学生ボランティア（大学・高校生）1回。		実績	6.00	6.00	0.00
		回	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	文化財一斉公開の延べ入場者数	人	目標	1,000.00	2,300.00	2,300.00
	29年度実績 1,723人。		実績	2,070.00	1,723.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、文化財などの継承と保護、活用を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域の財産である文化財を保護、継承するものであり、地域の先人たちやふるさとに対する誇りと愛情を構築するため必要である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 地域の人達にとって、歴史への理解と愛着が持てる活動を推進することができる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 地域の文化財が荒廃し、歴史遺産が分からなくなってしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 地域の財産でもある文化財を後世に伝えるため、事業を推進する必要がある。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 文化財の所有及び管理には、経済的な負担が発生するため、市や県から補助及び市民ボランティアの協力によって保護継承している。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 文化財の保護者は、市をはじめ個人や集落等が管理しているものであり、適正である。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	文化財を後世に伝えるため、地域住民に郷土の歴史に対する理解を深めていただくため、文化財一斉公開などの事業を展開するとともに市民協働による維持管理を推進する。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：仲澤 勤 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 文化財の一斉公開などを活用し、地域の財産（文化財）の理解を深めていただくとともに地域住民、市民学芸員と連携した利活用に取り組むこと。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：辻和徳 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 文化財の一斉公開などを活用し、地域の財産（文化財）の理解を深めていただくとともに地域住民、市民学芸員と連携した利活用に取り組むこと。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成29年度								
事務事業名	帆引き船保存活用対策事業（政策）						事業類型	補助事業	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	かすみがうら市事業費助成型補助金等交付要綱
			10	04	03	09	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(3) 地域文化の継承と創造						市民協働	行政の関与	
	1 地域文化						担当課係等	歴史博物館	
	④観光との連携							文化振興担当	
事業期間	継続（年度～）								

現状把握の部（D0）

【目的】 本市の誇るべきシンボル「帆引き船及び帆引き網漁法」を後世に伝承していく。	【関連事業】 文化財保護事業 歴史博物館管理運営事業
【期待される効果】 帆引き船や帆引き網漁法が漁師の高齢化により継続できなくなる恐れがある。保存会を支援し、後継者育成や県指定文化財を目指すことにより、帆引き船の認知度を高めることと、帆引き船操業者等のモチベーションを高める効果がある。	【対象者】 霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会
【全体概要】 帆引き船と帆引き網漁法の調査研究。霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の支援。帆引き船及び帆引き網漁法の保存、継承対策。	【特記事項】 県、国指定文化財に向けて帆引き船民俗調査を実施。
【平成28年度 事業内容】 県指定文化財への指定を目指した帆引き船及び帆引き網漁法の調査研究及び各種調整、霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動支援、映像記録保存事業	【平成29年度 事業内容】 県指定文化財への指定を目指した帆引き船及び帆引き網漁法の調査研究及び各種調整。霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動、支援。帆引き船民俗調査。
【平成30年度 事業内容】 県・国指定文化財への指定を目指した帆引き船及び帆引き網漁法の調査研究及び各種調整。霞ヶ浦帆引き船・帆引き網漁法保存会の活動、支援。帆引き船民俗調査委託。	

■事業費

		H28年度	H29年度	H30年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,776	1,166	1,711
	歳入計（千円）	4,776	1,166	1,711
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	09 旅費	10	86	77
	13 委託料	3,289	0	0
	14 使用料及び賃借料	0	0	39
	19 負担金、補助及び交付金	1,477	1,080	1,595
歳出計（千円）（A）	4,776	1,166	1,711	
（参考）	当初予算額	4,984	当初予算額	1,695
職員人工数	0.30	1.00	1.00	
職員人件費（B）	2,361	7,703	7,807	
総事業費（A）＋（B）	7,137	8,869	9,518	

■指標

種類	指標名	単位		H28年度	H29年度	H30年度
活動 指標	帆引き船保存活用	回数	目標	5.00	5.00	10.00
	帆引き船民俗調査（関係者からの聞き取り）回数。		実績	10.00	6.00	0.00
	帆引き船関係機関との連携		目標	7.00	5.00	5.00
	帆引き船関係機関との連携（会議回数）		実績	4.00	6.00	0.00
成果 指標	文化財の指定	ポイント件	目標	1.00	1.00	2.00
	市、県、国指定文化財と段階的に上げていくことにより、かすみがうら市発祥の帆引き船文化を広めることができる。市指定1 国選択2 県指定3、国指定4		実績	1.00	2.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、観光との連携を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 かすみがうら市のシンボルの一つである帆引き船を継続的に維持していくためには、帆引き網漁法の文化的価値の再確認と後継者不足に問題があり、それを解決するための事業である。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 保存会の支援だけでなく、県指定文化財を目指すために帆引き船の歴史的価値を調査研究する必要があり引き続き調査する。また、資料の保存継承をする必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 かすみがうら市を代表する観光帆引き船事業が継続できなくなり、帆引き船発祥の地としての価値が失われてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 観光事業として実施することは可能であるが、県・国指定文化財を目指すための事業には無理がある。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 （仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 後継者問題は、漁師の高齢化により今取り組まなければ技術の伝承ができなくなる。保存会の自主的活動により、職員の負担を少なくすることは可能である。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 保存会は、帆引き船を市のシンボルとして残したいという思いの人たちであり、支援することは適正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	帆引き船は、今後、県指定文化財、国指定文化財を目指していくため、更なる歴史的価値や歴史的価値や民俗的価値を調査研究する必要がある。29年度は市内の帆引き船操業者からの聞き書きによる民俗調査を実施したが、引き続きこのような調査を継続させ、価値づけをしていく必要がある。なお、帆引き船の操業技術を伝承できるよう、陸地での練習ができるよう地面の舗装を実施した。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：仲澤 勤
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 帆引き船関係者の高齢化が進んでいることから危機感を持って、帆引き船及びその漁法を後世に継承するため保存会や県、近隣市と連携しながら調査、文化財指定に向けた取り組みを進めること。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：辻和徳
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 後継者育成に重点を置きながら、帆引き船及びその漁法を後世に継承するため保存会や県、近隣市と連携しながら調査、文化財指定に向けた取り組みを進める。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成29年度							
事務事業名	歴史博物館管理運営事業（政策）						事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	社会教育法
			10	04	05	03	政策経費	
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 地域文化の継承と創造						市民協働	市民の関与
	1 地域文化						担当課係等	歴史博物館
事業期間	②ふるさと教育の推進							資料担当
	継続（年度～）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 市の歴史、文化に関わる事柄の調査研究や各種史料の収集、保存、整理、調査研究などを推進すると共に、それらを展示や講演会、講座等という形で情報発信することで、市民には郷土に誇りと愛着を持つ心を、市外の方には本市に興味と関心を持つ心を育てる。	【関連事業】 文化財保護事業 埋蔵文化財事業 富士見塚古墳公園管理運営事業 帆引き船保存活用対策事業
【期待される効果】 地域の歴史や文化にふれることで、郷土への愛着や誇りを感じることができる。その心情は、かすみがうら市の居住人口や交流人口を増加させる要因にもなる。	【対象者】 市民及び来館者全般
【全体概要】 市の歴史、文化に関する資料等の収集、整理保存、調査研究及びその公開並びに歴史博物館の管理運営。	【特記事項】 開館30周年となる年となるため、かすみがうら市を大きくPRできる記念特別展を開催予定。また、常設展示室のリニューアルや風返稲荷山古墳出土遺物（現在は県指定文化財）の国指定文化財を受けるための収蔵庫の改修を予定。
【平成28年度 事業内容】 特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行、歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進、資料の整理、受付業務などを担う臨時職員の雇用、郷土資料館の修繕	【平成29年度 事業内容】 特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行。歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進。歴史博物館の修繕。展示発掘資料収納用備品購入。ジオパーク資料の展示。
【平成30年度 事業内容】 特別展、企画展の開催及びそれに付随する催しの開催や書籍の刊行。歴史、文化に関する講座や体験教室など、ふるさと教育の推進。歴史博物館の修繕。世界湖沼会議特別展。	

■事業費

		H28年度	H29年度	H30年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	4,482	14,015	4,987
	歳入計（千円）	4,482	14,015	4,987
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	07 賃金	1,551	0	0
	08 報償費	354	927	1,008
	09 旅費	166	139	233
	11 需用費	1,811	2,347	3,168
	12 役務費	201	148	459
	13 委託料	0	1,588	119
	15 工事請負費	0	7,981	0
	18 備品購入費	399	885	0
歳出計（千円）（A）		4,482	14,015	4,987
（参考）	当初予算額	4,933	当初予算額	5,498
職員人工数		0.60	1.00	1.00
職員人件費（B）		4,721	7,703	7,807
総事業費（A）＋（B）		9,203	21,718	12,794

伸び率(%) 決 -64.4 予 -9.29

■指標

種類	指標名	単位		H28年度	H29年度	H30年度
活動 指標	特別展、企画展及びそれに付随する催し、出版など	回	目標	3.00	10.00	10.00
	29年度実績 特別展1回、企画展2回、展示に伴う講演会4回、展示に伴う出版物（マンガ等）		実績	11.00	11.00	0.00
	ふるさと教育に関する講座数	回	目標	14.00	14.00	16.00
	29年度実績 15講座		実績	16.00	15.00	0.00
成果 指標	歴史博物館の年間入館者数	人	目標	11,000.00	11,000.00	11,000.00
	29年度実績 13,150人		実績	10,528.00	13,150.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、ふるさと教育の推進を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市の郷土や歴史や文化等の情報が最も集積されているのが歴史博物館であるので、かすみがうら市の魅力的な情報発信が可能となる。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上らない理由はあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 登録博物館になったことにより、運営の充実が図られる。各地の博物館との連携が深まり貴重な資料の貸し借りがスムーズになり、更なる魅力的な事業の展開が可能となった。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 31年に及ぶ各種史料や各種情報の蓄積が無駄になってしまい、郷土への愛着や誇りが醸成されなくなる。子供たちへのふるさと教育の場もなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 他に歴史や文化などの展示や資料収集などを行う施設は市内にはない。歴史博物館にて展示や資料収集を行う事で集約した情報の取り扱いができる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 歴史博物館の維持管理や修繕は31年目となるために増加が見込まれる。現状で市民学芸員の協力を受けながらの運営であるために人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 入館者には入館料、受講生には受講料をいただいております。適正である。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	平成29年1月に登録博物館になったことにより、展示室のリニューアルを実施し、更なる魅力的な事業展開、情報発信に努めたい。市の集客性ある観光地の一つである歩崎公園の魅力発信施設として機能する歴史博物館を将来的にも継続させていきたい。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：仲澤 勤 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 懸案事項であった埋蔵文化財、民俗資料、廃校小学校資料の収蔵庫が旧安飾小学校に決定したことから年度内の資料等移設に向け、関係部署と連携を進めること。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：辻和徳 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 懸案事項であった埋蔵文化財、民俗資料、廃校小学校資料の収蔵庫が旧安飾小学校に決定したことから年度内の資料等移設に向け、関係部署と連携を進めること。		

事務事業評価シート

計画対象年度	平成29年度							
事務事業名	ジオパーク推進事業（政策）						事業類型	負担金
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	
			10	04	05	05	政策経費	根拠法令
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	(3) 地域文化の継承と創造						市民協働	市民の関与
	1 地域文化						担当課係等	歴史博物館
事業期間	④観光との連携						ジオパーク推進担当	
継続	(年度～)							

現状把握の部 (D0)

【目的】 地域に住む人が地域の価値を再発見し、愛着を持ち、地域を好きになることに始まり、さらに訪れる方々にその価値を理解していただくことで、みんなに愛される地域づくりを目指す。	【関連事業】 埋蔵文化財保護事業 歴史博物館管理運営事業 富士見塚古墳公園管理運営事業	
【期待される効果】 みんなに愛される地域づくりをすることにより、地域活性化、地域のブランド力向上、イメージアップの効果が期待される。	【対象者】 市民 市来訪者	
【全体概要】 筑波山ジオパークの市内にある4か所のジオサイトの情報を発信し、観光資源としても活用していく。 筑波山地域ジオパークの普及啓発、保護するための取組、ジオパークと触れ合うための取組、ジオパークをつなぐための取組、ジオパークが続くための取組を進めていく。	【特記事項】 つくば市・石岡市・笠間市・桜川市・土浦市・かすみがうら市の6市から成る筑波山地域ジオパークとして、6市で連携しながら推進していく。	
【平成28年度 事業内容】 筑波山地域ジオパーク推進への取組。	【平成29年度 事業内容】 筑波山地域ジオパークの普及啓発を図るための看板の設置、啓発グッズの作成、ジオパークに関する講座、全国大会への参加等。	【平成30年度 事業内容】 ○筑波山地域ジオパークの普及啓発・ジオパークのマンガ作成 ・ジオツアー実施 ・展示整備 ・案内らし・啓発グッズ作成 ○ジオパークに関する講座、全国大会への参加

■事業費

		H28年度	H29年度	H30年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	自主財源	0	2,544	1,805
	歳入計（千円）	0	2,544	1,805
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	08 報償費	0	0	40
	09 旅費	0	28	119
	11 需用費	0	699	575
	15 工事請負費	0	1,264	0
	18 備品購入費	0	0	400
	19 負担金、補助及び交付金	0	553	671
歳出計（千円）（A）	0	2,544	1,805	
（参考）	当初予算額	0	当初予算額	4,553
職員人工数	0.00	1.00	伸び率(%)	決 -29.0
職員人件費（B）	0	7,703	予	-60.3
総事業費（A）＋（B）	0	10,247		9,612

■指標

種類	指標名	単位		H28年度	H29年度	H30年度
活動 指標	講座開催コマ数	回	目標	0.00	10.00	10.00
	ジオパークに関する講座の開催コマ数		実績	0.00	10.00	0.00
	普及啓発回数	回	目標	0.00	5.00	5.00
	イベント・講座等でパネル展示・パンフレット配布・普及啓発用映像の放映等により、普及啓発を実施した回数		実績	0.00	5.00	0.00
成果 指標	講座参加者数	人	目標	0.00	150.00	150.00
	参加者の増加を見込める講座を企画する。		実績	0.00	246.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 総合計画における、観光との連携を行うものである。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 筑波山ジオパークを構成する他の5市との連携・協力を図り、市内外へ広く周知していく必要がある。
有効性 評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上まらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 認定されて間もないこともあり、広く周知されていないのが現状である。小中学校への出前講座等も実施し周知を図る必要がある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 筑波山ジオパークを構成する他の5市との関連もあるので、単独での判断は難しい。市民への直接的な影響というよりも将来的にサービス低下につながる恐れがある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 観光事業との連携を図ることにより、広範囲な啓発・周知ができる。
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。 (仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 ジオパーク専属の職員は配置されているものの専門性はないので、コストをさげれば必然的に成果を下げることに繋がる。
公平性 評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。 公平・公正になっているか。	<input type="checkbox"/> 公平・公正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 ジオパーク事業に携わる関係者には認知度は高いが、まだまだ市民の認知度は低く、普及啓発を推進していく必要がある。

今後の改善方策や方向性

改善 方策 ・ 方向 性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	ジオパークをかすみがうら市の目玉事業として地域活性化を図っていくために、数多く普及機会を設けると共に、積極的に観光や地方創生事業と連携し、魅力的な事業を展開していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：仲澤 勤 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） ジオパークをかすみがうら市の地域活性化を図るためツールとして、普及・啓発活動を観光、地方創生部署及び筑波山地域の関係市等と積極的に連携し進めること。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：辻和徳 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） ジオパークをかすみがうら市の地域活性化を図るためツールとして、普及・啓発活動を観光、地方創生部署及び筑波山地域の関係市等と積極的に連携し進めること。		